

中学校1年生 *単元確認テスト①*			身近な生物を観察しよう			
組	番	氏名	思・表★ /2	技能 ○ /3	知・理 /5	/10

- 1 次のア～ウの文で、正しいものには○、まちがっているものには×を書きなさい。(機：全正1点)
- ア ルーペで観察するときは、ルーペを動かしながらよく見える位置をさがす。

×	○
---	---
- イ スケッチするときは、細い線ではっきりとかく。

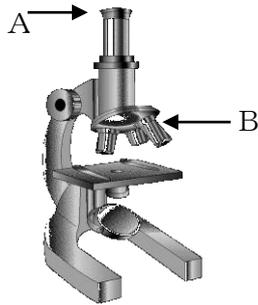
○	○
---	---
- ウ 双眼実体顕微鏡は、観察するものを立体的に観察するのに適している。

○	○
---	---

2 下の図1のような鏡筒上下式の顕微鏡を使って水中の小さな生物を観察する。次の問いに答えなさい。

(1) A、Bの部分の名前を答えなさい。(知・理：1点×2)

図1



A	接眼レンズ
B	対物レンズ

(2) 次のア～エの文を、顕微鏡の操作手順にならべなさい。(技能：1点)

- ア しぼりを回して、はっきり見えるようにする。
- イ 真横から見ながら、プレパラートと対物レンズをできるだけ近づける。
- ウ ステージの上にプレパラートをのせる。
- エ ピントを合わせる
- オ 反射鏡を操作して、明るさを調節する。

オ → ウ → イ → エ → ア ○

(3) 観察すると図2のように見えたので、生物を視野の中央に動かしたい。プレパラートをどの方向に動かせばよいか。図3のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。(技能：1点)

図2

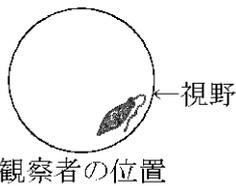
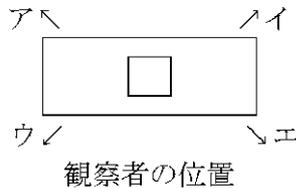


図3



エ ○

(4) (3)の操作の後、高倍率にして観察したい。そのとき、よく見えるようにするために注意することを2つ書きなさい。(思・表：1点×2)

- ①・観察したいものを、低倍率の状態で視野の中央に置く。
 ・対物レンズとプレパラートがぶつからないように注意する。 など ★
- ②・しぼりを回して、観察したいものが最もはっきり見えるように調整する。 など ★

3 図1はアブラナの花の断面を、図2はマツの花と種子を示している。次の問いに答えなさい。

図1

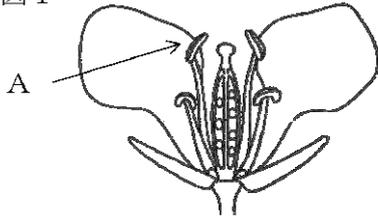
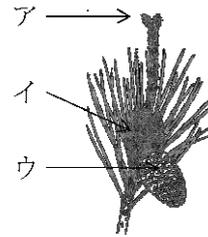


図2



(1) 図1のAと同じはたらきをする部分を、図2のア～ウの中から1つ選び、記号で答えなさい。(知・理：1点)

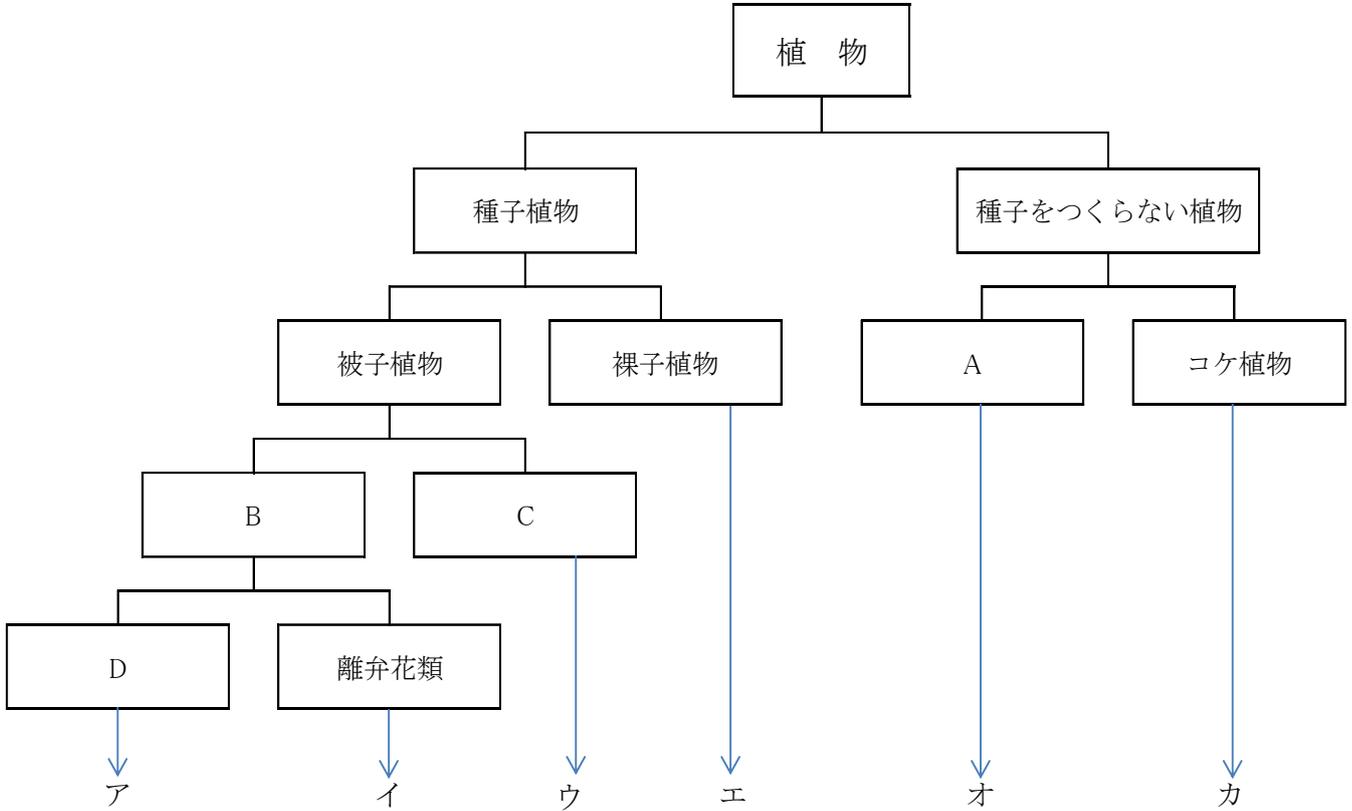
ア

(2) 図1のアブラナのような花のつくりの植物のことを何といい、図2のマツのような花のつくりの植物のことを何とよいか書きなさい。また、花のつくりの特徴を説明しなさい。(知・理：1点×2)

	名 前	花のつくりの特徴
図1 (アブラナ)	被子植物	胚珠が子房に包まれている
図2 (マツ)	裸子植物	胚珠がむき出しになっている。

中学校1年生 *単元確認テスト②*			植物の分類			
組番	氏名		思・表★ /4	技能○ /2	知・理 /4	/10

1 下の図は、植物をそれぞれの特徴によって分類したものである。次の問いに答えなさい。



(1) A～Dにあてはまる分類名を書きなさい。(知・理：1点×4)

A	シダ植物	B	双子葉類	C	単子葉類	D	合弁花類
---	------	---	------	---	------	---	------

(2) BとCのなかまについて、発芽の様子の特徴を図と言葉で説明しなさい。(技能：1点×2)

B (全正) ○		C (全正) ○	
図	言葉	図	言葉
<p>地面</p>	子葉が2枚	<p>地面</p>	子葉が1枚

(3) 次の植物は、ア～カのどのなかまに入るか、記号で答えなさい。(思・表：1点×4)

・ゼンマイ オ★ ・タンポポ ア★ ・トウモロコシ ウ★ ・イチョウ エ★

中学校 1 年生 * 単元確認テスト③ *			動物の分類			
組	番	氏名	思・表 ★ /1	技能 ○ /1	知・理 /8	計 /10

1 下の表は、セキツイ動物の特徴をまとめたものである。次の問いに答えなさい。

	魚類	両生類	ハチュウ類	鳥類	ホニユウ類
体表の様子	うろこ	しめった皮膚	かたいうろこ	羽毛	毛
呼吸のしかた	(① えら)で呼吸する		肺で呼吸する		
外界の温度と体温	変温			(② 恒温)	
子の生まれ方	(③ 卵生)				(④ 胎生)
	ア		イ		
なかま	(D)	(B)	(F)	(C)	(A 、 E)

- (1) ①～④にあてはまる言葉を表の中に書きなさい。(知・理：1点×4)
- (2) ③のグループは共通のなかまであるが、さらにアとイのグループになかま分けすることができる。アとイのちがいを書きなさい。(思・表：1点)

アは卵を水中で産み、イは卵を陸上で産む。 ★

- (3) 次のA～Fの動物をなかま分けして、表のなかまの欄に記号を書きなさい。(知・理：1点)
A クジラ B イモリ C ペンギン D フナ E コウモリ F ヤモリ

2 次のA～Jに示した動物について、次の問いに答えなさい。

A ヒトデ B ヘビ C アリ D アサリ E エビ
F マイマイ G クモ H ムカデ I ダンゴムシ J クラゲ

- (1) 無セキツイ動物のなかまはどれか。A～Jからすべて選び、記号で答えなさい。(知・理：1点)

A、C、D、E、F、G、H、I、J

- (2) 節足動物はどんな体のつくりをしている動物か、答えなさい。また、節足動物のなかまを、A～Jからすべて選び、記号で答えなさい。(知・理：1点)

つくり 体表が外骨格でおおわれ、足に節がある。	記号 C、E、G、H、I
----------------------------	-----------------

- (3) 軟体動物はどんな体のつくりをしている動物か、答えなさい。また、軟体動物のなかまを、A～Jからすべて選び、記号で答えなさい。(知・理：1点)

つくり 外とう膜が内臓のある部分を包んでいる。	記号 D、F
----------------------------	-----------

- (4) イカの体を解剖してつくりを観察した。イカは無セキツイ動物であるが、セキツイ動物との共通点を書きなさい。(技能：1点)

筋肉を使って体を動かす、胃がある、など ○

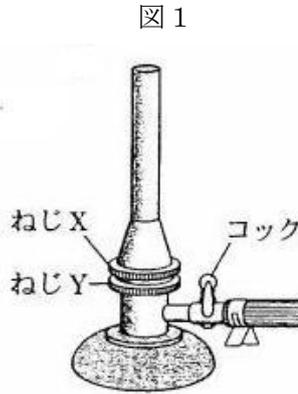
中学校 1 年生 * 単元確認テスト④ *			身のまわりの物質とその性質			
組 番	氏 名		思・表 ★ /2	技能 ○ /5	知・理 /3	/10

1 ガスバーナー、メスシリンダー、上皿てんびんの使い方について、次の問いに答えなさい。

(1) 実験で図1のガスバーナーを使った。

次のア～オの操作を正しい順に並べ、記号で答えなさい。

- ア ねじYをおさえて、ねじXだけを少しずつ開き、青色の炎にする。
 イ ガスの元せんを開き、コックも開く。
 ウ ねじXとねじYが閉まっていることを確認する。
 エ ねじYをゆるめて、炎の大きさを調節する。
 オ マッチに火をつけ、ねじYを少しずつ開いて、点火する。



(技能：1点)

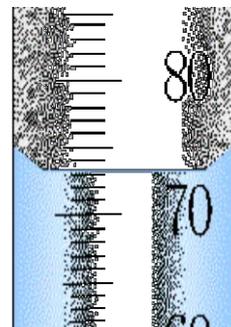
(1)	ウ → イ → オ → エ → ア	○
(2)	① 1 cm ³	○
	② 73.2 cm ³ (73.1, 73.3 cm ³ も可)	○
(3)	① 25.2 g	○
	② (上皿てんびんのうでが動かないように) 一方の皿を、もう一方の皿に重ねておく。	○

(2) 100 mL のメスシリンダーに、水を入れたところ、図2のようになった。(注：1 mL = 1 cm³)

- ① このメスシリンダーの1目盛りは、何cm³か。(技能：1点)
 ② このメスシリンダーに入れた水の体積は何cm³か。

(技能：1点)

図2

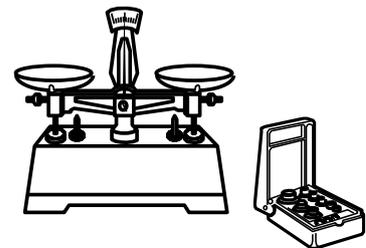


(3) ある物体の質量を図3のような上皿てんびんを使って測定した。次の問いに答えなさい。

- ① 物体と分銅がつり合ったとき、使用した分銅は、次の通りであった。この物体の質量は何gか。(技能：1点)

20 g が 1 個、 5 g が 1 個、 200 mg が 1 個

図3



- ② 物体の質量を測定した後、上皿てんびんを片付けるときはどのようにしなければならないか。簡単に説明しなさい。(技能：1点)

2 次の問いに答えなさい。

(1) 金属に共通する性質を、3つ書きなさい。(知・理：全正1点)

電気をよく通す。	熱をよく伝える。	金属光沢がある。
----------	----------	----------

たたくとうすく広がる。 引っばると細くのびる。 など

(2) ガラス、食塩、プラスチックなどを、金属に対して何と
いうか。(知・理：1点)

(3) 砂糖、デンプン、食塩をそれぞれ燃焼さじにのせ、ガス
バーナーで加熱した。この3つの物質の中で黒く焦げて炭
になる物質はどれか、すべて書きなさい。また、このよう
な物質を何とよいうか。(思・表：全正1点)

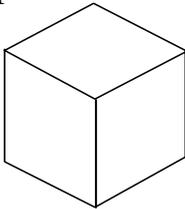
(4) (3)のような物質に共通に含まれているものは何か。

(知・理：1点)

(5) 下図のような体積 7 cm^3 で、質量が 55.1 g の純粋な物
質でできた物体がある。表より、この物体の物質名を答え
なさい。(思・表：1点)

(2)	非金属
(3) ★	炭になる物質は、砂糖、デンプン
	このような物質を有機物 という。
(4)	炭素
(5)	鉄 ★

図4



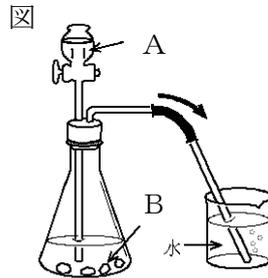
表

物質名	固体の密度
アルミニウム	2.87
鉄	7.87
銅	8.96
金	19.32

中学校 1 年生 * 単元確認テスト⑤ *		気体の性質			
組 番	氏 名	思・表 ★ /3	技能 ○ /2	知・理 /5	/10

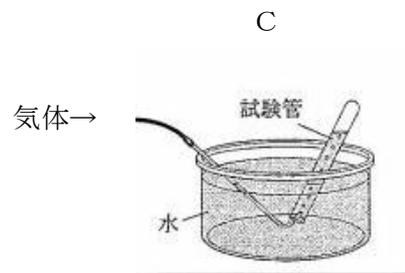
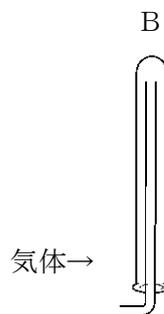
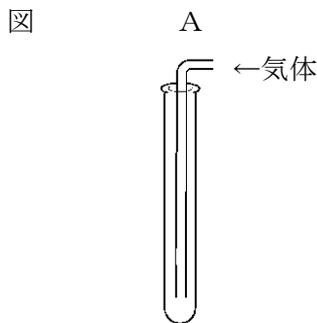
1 図のような装置を使って実験したところ、ある気体が発生した。次の問いに答えなさい。

- (1) Aにはうすい塩酸、Bには石灰石を入れて実験したときに発生した気体は何か答えなさい。(知・理：1点)
- (2) (1)で発生する気体を集めて、どんな実験をすると(1)の気体かどうかを確かめられるか、その方法を書きなさい。(技能：1点)
- (3) (1)で気体を集めるときに、気体の発生後、しばらくしてから、気体を集めなければならない。この理由を簡単に説明しなさい。(技能：1点)
- (4) Aにはオキシドール、Bには二酸化マンガンをを入れて実験したときに発生した気体は何か答えなさい。(知・理：1点)



(1)	二酸化炭素
(2)	石灰水を入れて、よくふってみる。 ○
(3)	はじめは、三角フラスコ内の空気が出てくるから。 ○
(4)	酸 素

2 下の図A～Cは気体の集め方について示したものである。次の問いに答えなさい。

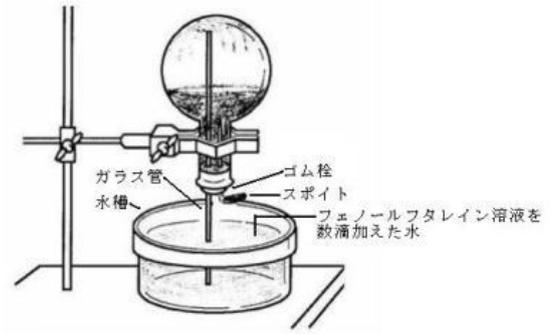


- (1) A～Cの気体の集め方を何というか。それぞれ書きなさい。(知・理：全正1点)
- (2) 水にとけにくい気体を集めるにはA～Cのどの方法が最も適しているか。A～Cから1つ選び、記号で答えなさい。(知・理：1点)
- (3) 水にとけやすく、空気より密度の大きい気体を集めるには、A～Cのどの方法が最も適しているか。A～Cから1つ選び、記号で答えなさい。(知・理：1点)
- (4) 水素を集めるとき、A～Cのどの方法が最も適しているか、A～Cから1つ選び、記号で答えなさい。また、発生した気体が水素かどうかを調べる方法を書きなさい。また、調べた方法で水素であった場合の結果も書きなさい。(思・表：全正1点)

(1)	A	下方置換
	B	上方置換
	C	水上置換
(2)		C
(3)		A
(4) ★	記号	C
	方法	マッチの火を近づける。
	結果	音を出して燃える

3 図のような装置を使って次のような実験を行った。
 かわいた丸底フラスコに、気体のアンモニアを十分に
 入れた。水槽には、フェノールフタレイン溶液を数滴
 加えた水を入れた。また、スポイトには水を入れた。
 そして、水を入れたスポイトを押したところ、フラス
 コ内のガラス管の先からいきおいよく水が噴き出した。
 次の問いに答えなさい。

図



- (1) 下線部の現象が起きた理由を、アンモニアの性質
 をもとに説明しなさい。(思・表：1点)
 (2) 吹き出した水は、何色になるか。それはアンモニ
 アのどんな性質によるか、理由を書きなさい。

(思・表：全正1点)

(1)	アンモニアはたいへん水にとけやすいので、スポイトから出た水にアンモニアがとけて、フラスコ内の気圧が下がり、水槽内の水が吸い上げられたから。		★
(2)	色 赤 色	理由 水にとけるとアルカリ性を示す性質。	★